

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	発達心理学		
担当者(Instructors)	堀 篤実	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択必修

## ■ 授業の目的と概要 (Course purpose/outline)

本講義は、誕生から死までの心身の生涯発達として、出生前後から児童期までの発達、青年期以降の発達と非定型発達に関する知識と技能の修得を目的とする。発達段階における心理的特性を踏まえた心理学の知識を学ぶ。また、人との相互作用を通して発達していくことを具体的に理解する。生涯発達の観点から発達のプロセスや初期経験の重要性を学ぶとともに発達障害にも言及する。

## ■ 授業形態・授業の方法 (Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	講義形式を中心に、授業の内容に応じて課題のディスカッション、グループワークを取り入れる。

## ■ 各回のテーマとその内容 (Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション 授業概要の説明	発達心理学という学問やこの授業で扱う内容について説明する。	<input type="checkbox"/>
第2回	生涯発達とは	生涯発達という新たな発達観への変化について理解する。	<input type="checkbox"/>
第3回	胎児期の発達	胎児期の発達の概要を理解する。	<input type="checkbox"/>
第4回	乳児期の発達	乳児期の発達の概要を理解する。	<input type="checkbox"/>
第5回	幼児期の発達	幼児期の発達の概要を理解する。	<input type="checkbox"/>
第6回	児童期の発達	児童期の発達の概要を理解する。	<input type="checkbox"/>
第7回	青年期の発達	青年期の発達の概要を理解する。	<input type="checkbox"/>
第8回	成人期の発達	成人期の発達の概要を理解する。	<input type="checkbox"/>
第9回	老年期の発達	老年期の発達の概要を理解する。	<input type="checkbox"/>
第10回	認知機能の発達	自己認知の発達や他者の心の理解や認知について学習する。	<input type="checkbox"/>
第11回	感情の発達	泣きやほほえみの発達、情緒や感情の発達の理解を深める。	<input type="checkbox"/>
第12回	社会性の発達	共同注視や社会的参照など社会性の発達について学習する。	<input type="checkbox"/>
第13回	非定型発達	発達障害等非定型発達について理解をする	<input type="checkbox"/>
第14回	生得的気質と性格の発達	性格の核となる気質と環境等により作られる性格、自ら作り出す性格について学習する。	<input type="checkbox"/>
第15回	授業の振り返りとまとめ	授業で学習したことの振り返りとまとめを実施する。	<input type="checkbox"/>

## ■ 授業時間外学習 (予習・復習) の内容 (Preparation/review details)

各回の内容について、事前に講義内で示されたキーワードについて調べ、その内容を理解する (2時間程度)。授業前までに次週で扱うテーマの中にある言葉について調べてくる。授業後は配布資料を参考に授業内容を振り返り、自分で調べてきたことと照らし合わせてキーワードについてまとめる (2時間程度)。

## ■ 課題とフィードバックの方法 (Assignments/feedback)

毎回、講義後に振り返りを提出する。それは採点され、翌週フィードバックし、全体で共有したほうが良い内容については次回授業の冒頭で紹介する。

## ■ 授業の到達目標と評価基準 (Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
--------------	-------------------	-----------------

知識・技能	◇ 2019人間健康DP1	心身の発達に関する専門的知識と実践的能力を身につけている。
思考力・判断力・表現力	◆ 2019人間健康DP2	心身の発達支援における問題意識を持ち解決方策を探求できる。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			50%	50%
<b>授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)</b> 毎授業後、振り返りの課題、またはレポートを提出する(40%)。 授業(グループワーク含む)への参加態度、意欲などを総合的に判断する(10%) 授業の振り返りとまとめの課題として試験を実施する(50%)。				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	必要に応じて資料を配布します。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	特になし	
2		
3		
4		
5		